MOE
コミックス

偕成社

KAISEI-SHA

カバー・表紙デザイン
カバー彩色
たむら しげる

——魚つり——

やあ
こんばんは

きれいな月だねえ
これからどちらへ?

ポロン海へ魚つりに行くんですよ
そうですかたくさんつれるといいね

それじゃ
スーッ
おやすみ

月光マグロ

魚つりは待つことがかんじんなんだよ
ふ〜っ
うーっ なかなかつれないもんだなあ
月光マグロの大物だっ
おっ かかったぞ
ぐっ
うわっ でで でかいっ

——約束——

こんなにうめもの
満月の夜まで
待てるわけ
ないわ――っ

いいかい
月光マグロは
満月の夜に
食べるんだよ
おう
満月の夜だな

ぐー
ぐー

しかし
いい天気
ですねっ
そうですね
……あらっ

——野イチゴ売り——

「野イチゴ売り
手伝ってください」
か……よし

おやじさん
オレ
野イチゴ
売るよ
そうかい
それじゃ
その帽子をぬいで
このイチゴを
食へておくれ

パクパク

えーっ
野イチゴッ
野イチゴは
いらんかねーっ

―客―

ひとつ
ください
はいよ
ありがと
さん

野イチゴーッ
野イチゴは
いらんかねーっ

えーっ
野イチゴーッ
野イチゴは
いらんかねーっ

パク
パク

H. Masumura

ATAGOUL

玉手箱メニュウ

キナコ石の粉

ああ
こりゃ
こりゃ

うう
いい
オイが
するなあ

酢ダコかな
マクロかな

まっててね
いま食べて
あげるからね

イエーイ
よう
ヒデヨ

ねえ ねえ
なに食べてんの?
岩を
溶かして
るんだよ

するとこの中に なんかうまそうなものかいるのかかな?

キナコ石たよ
ほら

なんたこれ クク一 動いてるぞ
キナコ石は生きて る鉱物なんた

ああ、こう粉吹いてるぞ

オレたち この粉を捜して たんたよ
うう いいオイするなあ この粉

これを水に湿らして ふりかけると
とんなものでも ふえるんたよ

ふえる?
ああ 湿ったこの粉を 一匹のマクロにかけるたろ

すると、7、8匹に なるんたよ

本当か

そうだよ
形も中身も
マクロそのものさ
ううっ

オレにも
分けてくれ
少しなら
いいよ

いいかい、水分に湿らせたら
気をつけてあつかうんだよ
体に
ついたりすると
大変だからな

オウ
オレさっそく
家に帰って
酢ダコにかけてみるわ

はあ はあ

これで
一匹の酢ダコが
七匹になるのか

しかし
この粉
いいニオイだな

あの粉 うめえ よう

もっと くれ

おれにも くれ

う

I call your name

（★ー）

しゃらららら

あいこーよねい

ぱっろろろろっ

★印のついているところでヒデヨシが歌っているのは、ご存知ビートルズナンバーです。
さて、何の曲でしょう。答えはＰ 44にあります

かなり古き時代に絶滅しているため、本当に言葉を話せたのか知ることはできない
ほわっほ ほっほっ

ぬあ～にが博物誌だ
このスミレ博士がさらさらと森を歩けばちゃんと見つかるのよ

ヒュー
ろっ

つけヒゲが飛んでってしまった

こうなっては森の音楽家
ヒゲコン君にもどらなくっちゃ
スルスル

でも本当に脱舌バナナってあったんですか?
あったところか食べたのよ オレ

食った!
そーよ

本にはにがくて食えたものではないと書いてありますよ

腹へってたからけっこううまかったよ
しかしネコが食べたらどうなるんだろう

あっ まさか

フエフェ思い出したかな? あの三日月様の夜のこと
そうかっ あの時バナナ食ってたんですね

そうなのよ、食ったら口が勝手に話し始めて眠くなっても止まらないのよ
そいで困ってしまって粉雪亭に行ったのよ

次の朝声が出なくなってもバクバクやってたのはすごかったですね
オレベロつかれたわ

ぷろ〜
イエッ

待ってろよサスケ今すぐ口かきけるようになるからな

オオ〜あれた
あら

スゴイいっぱいなってるぞ

どうだねヒデ丸天才スミレ博士のすばらしさは
ほんとに脱舌バナナってはえてたんですね

ほっ、皮むいたぞ
さあお食べ
ぱろ

モシャモシャ

ら
ぺっ

やっぱりソウでも
マズイんだなあ

こらこらサスケ
これを食べれば
オレといろいろ
話ができるんだぞ

サスケもオレに
話したいことが
あるだろう?

ぱおーっ
よし
ぐっといけっ

うぐっ

ねえヒデヨシ君
サスケが言葉を
話せたら
最初に何んて
言うでしょね

そうだな
いっしょに
何度も酒
飲んだしな

盗んだマグロを食べながら
唄も唄ったしな
ノフノきっと
オレの名前言うたろうな
聞いたかいサスケ
お兄さまと
呼ぶんだよ
そうよ
ホラホラ
お兄さまよ

ヒデヨシ君は
なんて呼んで
もらいたいですか
そね

お兄さまと
呼ばれたいわ

あ〜〜っ
オッあっと言いましたよっ
サスケおれだヒデヨンだ
お〜お〜
そうだよ、お兄さまだよ
あのね
なあに？
ブタオヤジ

冷しつぼ

ミィーーーッ
あついなあ
っっ

オレ、もう死にそうなのよう
相変わらずひどい汗が出るもんだな

うう～っテングラ早く見つけてくれよォ

たしかパンツが話していたのはこのあたりだけど
え～っつぼはいかか

え～っ冷しつぼはいかかあ
おっあれた

いらっしゃいませ
体がひんやりするつぼだよ10分はいって銅貨たったの2枚

うへへへほんとに涼しくなるのかあ?

お客さん
ワンかこんなかっこうをしていられるのもこのつぼに入っていたからなんですよ
うう　オレも入れてくれ
それでは猫の目砂時計で0分間ですよ
トン
なんだせんぜん涼しくなんねえぞ
うちのつぼにかぎってそんなことねーだよ
うっ
どう？
ああ涼しくなってきたわ
このつぼは雪見沼の底でワンのじいさんか見つけたもので、代々家宝にしていたんじゃよ
へえ雪見沼で
ああ涼し
みゃろち
はい時間ですよ
うーもう終りなの
銅貨2枚はらったらあと1回入ってられるよ
それじゃ
パラ
これ
うあ
こらヒデヨ
すー

イエー
作戦成功
きのうパンツの話を聞いた時から
眠り花粉ぶっかけ作戦しかないとオレは結論したわけよ
あー このつぼさえあれば夏中涼しくすごせるわ
毎日オレが入ってあげるからね
ぐら
ぐら
うりゃ
諸君さらば じゃ
ショリ
ショリ
ああ涼しい
ショリ
ショリ
ドングリせんべいをつまみながら
猫工宗巨大特級を飲む
くーっ、好きよアタゴオルの夏
ショリ
ショリ
それにしても涼しいつぼだなあ

んめぇぇ

うっっ
あれ

うあっ
つぼがないっ

ヒデヨンの
やつ

ワシの大切な
つぼがっ
おやじさん
だいじょうぶですよ
あいつの居所なら
すぐにわかります

なにっ
すぐわかる?
ええホラ
気づきませんか
このニオイ

そういえば
さっきからイヤな
ニオイがするな

あいつのマントの
ニオイなんです
一年中洗濯しないで
着てるので
汗やらよだれやらで
夏は特ににおうのです

ハア
ハア
このニオイを
追っていけば
必ず見つかりますよ

しかしあんたの友だちは
ひどい奴だねえ
ほしい物かあると
見さかいが
なくなるんです

フフフフ
どうか
しましたか?

お客さんをつぼに入れる時
猫の目砂時計で時間を
はかってるのはね
あのつぼに長く
入っていると眠って
しまうからなんですよ

眠って
しまう?

あんな風に
水があふれて
くるんです

寒いのよう
寒いのよう

メビスきゅうり

じゃん
じゃん じゃん
じゃん

あれっ
それ!!

どこで
見つけたんだ?

風鈴森のホタル也の
そばでだよ
えーっ
あそこに
生えてたのか

何ですか
それ?

メビスきゅうりと
いいまして
昔はアタゴオルの
沼地にたくさん
生えていたんです

これの
しぼった汁が
なかなかの
もんなんですよ

ギュッ

ふう
かなり甘いかおりがしますねえ
ええでもこれ、毒液なんです

ツー

オレ一度たっぷり飲んで腹が痛くなったことかあるのよ

そっそんなにオソロシイ毒液をどうするんですか

服や靴にかけるのです

ヒデヨシ君が腹痛をおこしたっ

普通の連中ならちょっと助かりません

はあ?
オレはマントにしよう

いっぱい
かけてね
ザーッ
雪あげ丸さんも
ひとつ
いかかですか
それじゃ
チョンキに
きょうの夜空には
細い三日月さんか
浮かんでるそう
うん
星は見えるし
絶好の夜だな
らんらん

つっ
またかなあ

も少しだよ
うすい三日月の光の
たっぷり浴びないとね

メヒスきゆうりは
月光を浴びてそたつ
植物なんてす
月光植物
ですか

チカッ
ええ、それて
しぼったあの夜を
服につけて月光を
浴びさせると

ス

あっ、星か
うさぎ座の
星か消えたっ

ス
ス
おっ

テンファ
始まった
そう
ああ

星の光か
あっちこっち
消えていきますよ

あっ

うっ

メビスきゅうりの
液体は
宇宙の星々の光と
つながっているのです

星々の光とつながっている

フフ…
テンプゥのは
うさぎ座か

オレのは
何かな？

白くま座

ツキミ姫のお菓子

ここを降りるのは決心がいるぞ
えへへ 二日月石があるんだぜ

あるかなあ もうとりつくされているんじゃないの
たいじょうぶよ オレのかんは最近特にさえてるのよ

ほんじゃ降りてみるか
イエ

ゴッ

ないな
アングラ、こっちのはでかいぞ

ウム、これなら個くらい入ってるかもしれないな
うへへ いくぞ 二日月石

ドリャ

あ

ピシッ
石の中に
諸君
ら
たたき起こしてくれて
ありがとう
あ　あなたはいったい?
私はこの森の王の娘ソキミです
モノノ尾?
森の王!?
おっ
お前は私の家来のノンタではないか
あのねオレ ヒデヨシだよ
ヒデヨシ
そうか しかしよく似ている
おまえはきっとノンタの子孫だな

何言ってんだ
こいつ・・・
頭の中には
石がつまってるな
頭に石など
つまってないわよ
ら
さあ
私を出してくれた
お礼だ
あれ
いいニオイ
私たちが食べていた
お菓子だよ
お菓子
とっても
おいしいんよ
ささ
どうぞ
では
さっそく
パク
パク
!
あら、
ここは!?
お菓子の
味の中です
ろっ
味が消えて
きたのです
うーう
もっとほしほし
あれは2個以上
食べると体を
こわしてしまうのです
ずあん
ぬえんだ
わあうあ

ところで
あなたたちは
どうしてここに
来たのですか
三日月石を
探しに来たのです

三日月石？
ええ
三日月の型をしてて
太陽の光を浴びると
ドクンドクン
音をたてる石です

クフノ
それは
私たちの作った
詩石だわ

詩石

そう
作るというより
生まれてくる石
なんだけどね

あの石を
アタゴオル宝石店に
もっていくと
おやじがよろこぶのよ
最近は
ほとんど
とれないからな

きょうは
採集でき
ましたか？
だめなのよ
でも
オレは
ぐあんばる
のよ

がんばらなくても
だいじょうぶ
もう
7コもとれてる
じゃないですか

な？
とれてる？

ええ
ホラまだ
聞こえませんか？

聞こえると
言われても

ドクン
ドクン
三日月石だっ
ドクン
あっ
よろこぶわよ宝石店のおやじ
キャー出てくるわよどんどん出てくるわ
でもどうして三日月石がうでから出てきたんだろ
さっきお菓子食べたでしょっ
うう うまかったわあ
あのお菓子を食べてしばらくすると
右腕のなかから生れてくるのです
ドクン
ドクン
右腕から7個生まれてきます
あのお菓子のせいなのか
そうです

ゆっくりと左腕に
沈んでいきました

ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
ドクン

月見ハウス

★2
あっとうざがる ざっまいぷろす ぺくわぐう
ガッ ガッ ガツ ガッ
あら

そこにいるのはヒデヨシ君ではないか

イエッ ツキミ姫 イエッ

夜の夜中に ずいぶん にぎやかたね
そーなのよ お月様かあんまりきれいなもんでひとりで盛り上ってるのよォ

ところで コブコブ草知らない?
コブ コブ 草 ?

昔はこの辺にはえていたんだけれど
あめ色で黄色のしまの入っているわりとかたい草なんだ

それなら オレ見た と あるぜ

ねっ

ありがとう これたわ
それ食ってもうまくないよ
ボコッ

私は食べないよ

するとそうやって
穴をあけてから
食べるのか
笛を作って
いるのだよ

ふえ
ふえ
ふえ

さあ
出来たぞ
イエ

どんな音か
するのかしら
ねえねえ早く
吹いてみせて

こ は気か
進まないなあ
やっはり
水辺の近くか
いいねえ
水辺?

水は気持ちか
いいかっねえ

フム

フトウの木もある
トラ石もある
ここに
するか

パラン

なに これ
譜面?
そうよ
きのう 日
かけて作った
のよ

それでは

あんっ うまいしゃないの

おお

さっきまで ヒテヨノのわめき声か 聞こえていたけど
やっと静かになったな
笛の音かするぞ

笛の音?
ああ

沼の方から かすかー

笛の音も 奇妙たけれと
施律も実に 奇妙だ

あららら

なんだあ これは？
私の家だよ
ふっ
くーこういう型 オレ好きよォ
あんた いー趣味 してるねえ
構造上 この型に なってしまう のよ
さあ とうぞ
お
あっ
これ なんだか いいニオイ するねえ
それ 引っぱって ごらん
こう？
カコッ
ジューッ
この森のブドウから 吸いあげた ブドウ水だぞ
んめえ
ねえこっちのは なにかしら
それは クルミだんこ
クルミだんこ オレ好きなのよ すんこく 好きなのよっ

うめえ
うめえよっ
モグ
モグ
モグ
そんなに
あわてなくても
まだあるぞ

うう
いいなあ
この家いいなあ

譜面に設計音を
作るのに一日
かかったからねえ

ねえ
ツキミ姫
オレにもその
笛吹かして
くれないか?

の笛ふつうの
人か吹いても音か
てないのよ

それよりいっしょに
演奏しないか?
オウ
イエノ
いいよう

でも家の中で笛吹いたら
家がバラバラになるんじゃ
ないの?
半音に
注意すれば
だいじょうぶよ

では
キイは「足」
ガーッ

のうのうのう
金色のさかな

おお
姫よっ

家かどんどん
上かっていくぞう

★3
卵の中から
えばらみ
らいしだあ
おうしだあ

この家は中にいる人の
気分に反応するのよ

くーっ 味なことを
ひっかもっ 紅マグロ ひっかん
なんだ あれは
う
家 かなあ
そうみたい だな
あれ ヒデヨンの 声かするぞ
しゃん しゃん
それにしても ずいぶん
移り気な 家だね

星街つり

ひとり本だよ

わかってるわよっ

やあ
こんにちは
あら
ソキミ姫
何みがいてるの?
つり針
だよう
ずい分大きい
ねえ
いったい何を
つる気なの
星街の入り口を
つるんだよ
星街の
入り口?
そうよ、
風鈴森の中に
あるんだけれどとね
いくら探しまわっても
見つからない星の街
なんだよ
ふしきな
街たね
オレ今まで二回
行ったことあるけど
星の店がたくさんあるよ
フフフ
私も
行ってみたいな
オレにまかせ
れは安心たよ
つり針をたっぷり
みがいておいたからね

こうしてると
星のあかりかはじけてつり針に集まってくるんだよ

よう

こんばんは
イエッ

つり針のみがき方がすごいんじゃないの
あう昼間っからみがいていたのよ

テンプラもいっしょにつらないか
この辺、空気の流れが速いらしいから、も少し上に行くよ

夜明けまでねばるのか

もちよ

ほんじゃ帰りにオクワ酒屋で会おう
健闘をいのる

ドフフフ

空気の流れが速いだと
速いところかよくつれるのよ

へえ速いところがよくつれるの
ぎょっ

速いんならホフあの木のあたりの方が速いわよ

ツキミ姫は
オレのひとり言
ばかりじゃなく
空気も
見えるのか

少し
目がいいからね

くふふ
それはたのもしい
さっそく
移動しよう

こうして見ると、
あちこちでつり糸を
たれてるね

星街のコーヒー店で
一度流星コーヒーを
飲んだりすると
星降る夜なんか
とっても飲みたくなるのよ

あっ

やった
やったぞ

この輝きに
ついて行けば
星街に行ける
のよーっ

おっ
キラッ

ああ

よう どうだい
やあ パンツ

今ちょっと光ったんだけどな

そういえば ヒデコンと ツキミ姫が 沼の方でつって いたぞ
あのあたりじゃ つれないな

どうしたんだい そのメガネ
去年 星街に行った 時、メガネ屋で 買ったんだ

これをかけて 風鈴森をながめると 星街が見えるんだ

えっ 星街かっ

ホラ かけてごらん

お

なんだか 変だね

さっきから ぐるぐる 回っている みたいだぞ
あらん すおかしら？

でも うず巻きみたいに まん中に向ってる 感じがするけどね

すごいなあ

けっこう 見える だろう
おっ
どうした？
ヒデヨンと ノキミ姫を

星街が むかい入れたぞ

銀色の花粉

なんたろう
この気配は
らん
らら
らんらん
あっ
ろっ
これか
星街ね
そうよォ
来てしまったのよォ
な なにとて
つり針は
私におめぐみを
オウノ
いいよっ
あれ

アタゴオルの森があんなに下に
この街ね アタゴオルの空に浮かんでいるのよ

プッカリとな

夜空に不思議な気配がすると思っていたがこの街だったのね

さあツキミ姫 コーヒー店へ行こうぜ
よし

流星コーヒーってのがうまいのよ
私 それ飲んでみたいな

あんら

前に来たときはたしかにやってたのに

もしもし あのね
この店つぶれたの?

いや、つぶれたんじゃなくて逃げまわっているんだよ

逃げまわってる!?

そうなんだよ ワシはこのコーヒーが飲みたくてね
はるばる銀しぶき海からこの街にやってきたんだが

なんでも…店のおやじがカジキ座金星派という星占いの会に入っているらしいのよ
カジキ座金星派!?

ああ、それで星占いの教えによって、カジキ座の金星の青白い輪が下に傾いている間は
店を次々と移動しながらできるだけお客に見つからないように商売をしているんだよ

ブロロ

ハァハァ
ら

彼もカジキ座金星派です

時計を山づみして・・
熱烈な信者のひとり、銀河時計店のおやじですよ

彼は逃げるのがへたらしくてしょっちゅう見かけるんだが
コーヒー屋の方は時々街のどこかから唄が流れてくるだけなんだ

唄!?
ああ、店の弾きがたりを外に流しているらしいんだが・・それが
ひどい唄なんだ

街に唄を流しながら逃げまわるなんて
なんだか不思議な店だねえ

カジキ座金星派になると、唄がうまくなるらしくてね
それでわざとへたな歌手に唄わせて、街の住民に入会を推めてるんだよ
へたな歌手よりコーヒー飲みたいうう 飲みたいっ。。。

あのねおじさん
コーヒー店何日ぐらい探しまわってんの
この街に来てもう二十日以上探してるよ

二十日も
ぬぬぬどこにいるんだコーヒー店はっ

私も帰るわけにもいかず困ってるんです
その店のカンバンか目印はわかりませんか?

聞いた話によると黄色のカンバンに青く金星コーヒー店とかかれているそうだが・

何か
このあたりでも
あるのかね
黄色のカンバンに
青い文字か

フフッ
見つけたぞ
えっ!?

こっちだよ

フェフェノ
おじさん二十日も
探してたなんて、
あのコーヒー好きなんだねえ
好きというか
ワシは
切手屋なんだよ

切手屋!?

そうだよ
切手屋をやっていて
星街の金星コーヒー店を
知らないものはないんだぞ

?
フェエ？

ホラ
ここだよ
なに
その下

出てこいおやじっ
パクッ

あっ
この声
この唄だ
うえっ
へったくそな唄
たわあっ

店に入ったら
演奏はやめて
もらおうね
コーヒーが
まずくなるわ

こんな所に逃げこんで
いれば、いくら探しても
見つからないわけだ
よく ここが
わかったね

クルッ

ノキミ姫は
目がすんごく
見えるのよーっ

静かにしないと
店のおやじに
気づかれますよ
そっと
行きましょう
ニャーン

らっ

おーにい しゅがりる わなえなおなはっ

ちっちゃい
オレだ・

えびばで
はた
くったい

このひどい唄
あんたの声
なんですか!?
うーっ
フフ
えび

ツキミ姫
知ってたのか?
地下道の
フタを開けた時に
気づいたぞ

ただ あんまり
ヒデヨノ君が
へただへただって
言うから
教えてやるのも
なんだと思ってね

でも
こうして
目の前で聞くと
うまい
なーっ
おのの

さんざん
悪口を言っておいて
いーかげんな男だなあ

お まいそー
そー、はあ

ろろっ
このちっちゃい
オレは何者
なんだ?

バタン

次の演奏は
ひょたん時間後
でえす
ぴょん

イエー
ども

ツキミ姫と野性の感が
とぎすまされたオレがいれば
すぐ解ってしまうのよーっ

あなたが
この店の
だんなさん
ですね
ええ
でもよくここが
解りましたね

幻燈猫

そう、この町から
アタゴオルの森の中で
唄ってるこの方を
遠メガネでながめて
作った幻燈猫
なのです

あなたの映像を
集めた幻燈猫です
ら

私が金星派に
入会してから
この店を探し
当てた方は
実にまれです
コーヒーに
マグロの頭

流星コーヒー
ういずマグロの頭

はるばるやって来た
みなさんに
どんなコーヒーを
さしあげましょうか?

あなた 2年前に 来たことが あるでしょ

あっん だんなさん オレのこと 覚えて くれたの
コーヒーに マクロの頭 なんぞを 入れて 飲んだ客を わすれるわけ ありませんよ

しびれる 味なのさぁ
私は 銀河コーヒーを おねがい いたしますっ

なんと

あれはなかなか むずかしい味ですから ねえ
私が長年、星街を 探し続けたのは
この店をたずねて 銀河コーヒーをぜひ 飲みたかったからなのです

これは銀しぶき海の 砂丘から掘り出した 金星貝でして
あなたへの おみやげにと 持って来ました

おおっ
まさしく これは我がカノキ座 金星派の海の星

このような みごとなものを いただいては
なんとか 作らないわけには いきませんね

私も その 銀河コーヒーというのを 飲みたいですな

うっ オレも流星コーヒー ついずマクロの頭と 銀河コーヒーが 飲みたいぞう
いーでしょう いーですとも

箱の底に

水のカケラつらなり
ひとつの海は皮をおこし

星の根を流れる
引力を唄う
コポ
コポコポ

ポトト

ささ
どうぞ

みなさん
離れて座って
飲んで下さいね

離れて飲む
そうです。
近づきすぎて
飲むと
心のインクが
まぢりますので

では、
いただきます
イエ
銀河コーヒー

ぞー

ふしぎな甘さと
にがみがあるね

私の長年の
想いが

プハー
次

はーっ
うまかった
あれ

もう飲んで
しまったのか

すおうよっ
でもね
コーヒーのしみこんだ
マグロの頭、これも
好きなのよっ

んー〜っ

こうして
飲めば
本当に私の夢は
かなうのだろうか?

いかが
でしたか?

とっても
おいしかったですよ

そうですか
そろそろ
誕生しますよ

あっ

あら

花の銀河だ

わおう

耳が
くすぐったい
ぞう

パコッ
金色の
卵だわっ
オッ
ら
CONG
さあ、どうぞ
割ってみてください
どうやら
お客さんは
切手愛好家
のようですね
鉱物製の
切手だ
オオノ
これだ
これが
私の切手
なんだ
はあ、私は海辺で
切手屋をやっていますが
集めた切手を売るのが
あんまりおしいので
今まで一枚も
客に売ったことは
ないのです
ところが、私の向い側の
店も切手屋で、そこの
主人は平気で切手を
売っているのですが、
たった一枚だけ
どうしても売らない
切手、それが、彼が、
星街のこの店で、コーヒー
を飲んで手に入れた
自分の切手だったのです
自分の切手

銀河コーヒーを飲んだ
お客さまの体内から出た
熱が作りあげる
お客さま自身の切手
なのです
ですから
こちらへ来て
ごらんなさい
同じコーヒーを飲んでも
三名とも切手がちがう
でしょ
ノェエッ
ほんとだ
でも、どうせ
出て来るんだったら
紅マグロでも出て
来ればよかったなあ…
こんな感じで
そんなマグロより
私は、この切手の方が
いいぞ
ろっ
ところで
切手って
なんだ?
はっ
切手って
手紙を出す時
手紙にペッタリ
はりつけると、
郵便屋さんが
配達してくれる
んですよ
それじゃ
この切手はれば
相手にとどく
のか?
もちろん
手紙は
とどきますけど
まさか、あんた
その切手使ってしまうのか
たった一枚の
自分の切手を
そうよ
とっておくなんて
できないわっ

あのね
オレ、字知らないから
ツキミ姫、かわりに
書いてくれる？
いいわよ

お客さん
どうもごぞんじ
ないようですな
ゴゾンジナイ？

私は
なんでも
食べます屋
らいひず
へいい
しよう
うはは

ところで
だれに
出すの？
パンツにしようか
テンノラにしようか
まよってしまうわ

ザー

にわか雨か
ザー

クー
パイロッ
トン

あれ、手紙だ

おかしいな
郵便屋の姿が見えないぞ

雨も止んでる

…この手紙 雨がはこんで来たのかな

おっ ヒデヨシからだ

(ナゾノ・ヒデヨシ)
アタコオル アノサイ森 蜂巣のぼって30尾っぽ)
ススキノ・テブラ殿)

星街のスタンプおしてある

ツキミ娘が代筆してくれたんだな
どれどれ
ピッ

ん

空っぽ

やっぱりないや

ふたりで空っぽの手紙を出すなんて星街気分にでもなってるのかなあ…
それともヒデヨシのイタズラか

イエーッ テンプラ 元気かあ?

オレ星街でコーヒー飲んだぞーっ

キリン塔

ピシャ
パン
おっ
始まるぞ

暖ったかい
手ぶくろなら
パリッ

毛糸の
尾っぽ屋にっ!

ほうきなら
なんといっても
目薬すい星
ほうき屋さっ

あとね
卵なら
星の卵を各種そろえた
ポノコン卵屋を

そして

※いえらい＝アタゴオルの古い方言で「おしまい」という意味です

はいよ
おまちど
一度に
のみほさないで
ゆっくりと
飲んでね
はい

かんぺい
KIN

ぐっ

ボッ

だうだいじょうぶか
お客さん

なんの
これしき

頭から火が
出てるわよ
いっぺんに
飲んだり
するから
ですよ

う っガンガン
きいてるぞう

あんら
あのポスターも
動いてるわ
木星割り
ウイスキイも
いかがあ
ハアすっちょい

この町のポスター
どうしてあんな風に
動くんですか?

そりゃ
キリン塔の
せいだよ
えっ

キリン塔

ええ
ほら、あの塔さ

あの塔の頂上の赤く円い所が、町中のポスターを動かしているんだよ
はあ

昔は、あの塔に登る者などひとりもいなかったんだが近ごろは
幻燈博士パピピ氏が金貨10枚の賞金をつけたため

時々若い者がヒゲつっぱって登るんですがきまって落ちるんだよ

金貨
10枚
あの塔から落ちるんですか
んだな
賞金に目がくらんでるからみんな落ちるのさ
考えなおせ
立入り禁止
さっ

あれ
ヒデヨシ君か

まさか
つれの方

金貨10枚
イエイエイエッ

あんたなんかに
渡さねよ
ソレッ
金貨10枚
オレのものっ

あぶないぞ
お前
早く
引き返せっ

らん
らららら
おい
こら

ヒデヨシ君
降りて来な
さーい
こらっ
やめるんだ
金貨10枚
オレのもの

こんな塔に
登ったたけて
金貨もらえる
なんて
楽なもんだわ

うへ
もう少しだ

唄うたっ
てるわ
だめだ
あいつ
落ちるな

手すりがあっても
落ちるんですか

この塔はね

クルッ

ん

あの赤い玉に
さわれば
いいんだな

頂上に近づく者が
心の底でほしがっている
風景を見せるんだよ
えっ

心の底でほしがってる
風景

あ…

ヒデヨシ君っ
それは幻覚よ。

げんかく

げんかくって
なあにっ

もう

そのタコもイカも
みんな幻っ
うその風景だぞ
ムフッ
これが
うその風景だとォ
こんなに
うまそうな
タコが
うそなわけ
ないべよ

今食って
みせるぞォ

キャー

バリ
バリ

いってえ

アタゴオル

星街に行く方法が見つかったんだって
ああ、これだよ

この器械!?
気巻砲っていうんだよ

ずいぶんガジェゴ泡がとんでるなあ

骨格の部分に星見草を使ってるからね

海賊古本屋で本を探していたとき偶然これを見つけたんだよ

気巻砲―私はこうして空の星の街へいったパズウラ博士・著

パズウラ博士って回転植物器を発明した人だよな
ああフジナ植物時代の三大発明家のひとりといわれていた人だからね
……だから

この本の設計図どおり、気巻砲を作ればヒデヨシたちのいる星街に行けるよ
うーっ楽しみだなあ

くーっ残念だわあ

タコが海の上で
おいでおいで
してたのよっ
ほんとよ
ほんとなのよォ
現実と幻覚の
区別がないのねェ
もう少し
だったのよー
あのイカの
太い足っ
黄色い感じの
青い水
あらら
ポスターの唄が
変わってきたぞ
星街の空に
月が登ってくる
からですよ
水のような月
おお
月がでて
きたわよ
星街の空に
月が登ってくると
街中のポスターにも
月が登るんです
へえ
これもやっぱり
あのキリン塔の
せいなんですか
そうだよ
街中のポスターを
動かしてるのも
月が出てくるのも
塔のせいだよ

たしかにあの赤い部分からはおかしな熱線がでていたね

すおかしら
オレにはただの赤玉にしか見えなかったけどなあ

まあ、幻燈博士のパピド氏が賞金をつけてからいろんな奴が登ったが、今まであの赤い所にさわった奴はいないけどよ

昔はだれかさわった者がいたのですか
ああ
オレが生まれる前の話だけどよ

その時は町中のポスターが火花を吹いて大変だったそうだ……

なんでも…そのさわった奴も大変な目にあったそうだがね

成功するかな
するさ

よし・焦点はあの塔の赤い玉の所にしよう

いいかアングラ
よし

ガチッ

うっ
！
オッ、やったぞ 成功だ
わおっ 星街だ
ポスターから 火花！
なんと
フフフッ どこの街にも イタズラ者は いるものだ
オレはぜひ その顔を 見てみたいぞよ
だだっ
たれかが 塔のてっぺんに さわったんだ
DON
私も塔にさわった 者に会ってみたいぞ
そっかっ 行こうぜ ソキミ姫っ

よう ひさしぶり

ぺったらこぅ

何んだよっ
ぺったらこうってっ

体中みんな
ぺったらこだぞ

何言ってんだ
おまえ
そうだよ
体は少し
かたい感じだけど
別になんとも
ないぞ

ははん
本人は気づかないんだわ

ねえ、ふたりとも
このガラスの前に立って
ごらん

うわ

ぺちゃんこだ
なっ

これは
いったい
パンノ君たち
どうやって
皇街に来たの

気巻砲という器械を使って
あの塔の赤い所を目標に
やって来たんだよ

えっ
それじゃ
赤い所に
ふれたのね
ああ
ブヨブヨして
変な感じだったよ

原因は
あれよ
あの赤い所に
ふれたから
体がぺちゃんこに
なったのよ
ええ

あらテンプラ
体曲げても
痛くないの?
そういえば
そうだな

ちょっと
いい?
あ、こら
ぐっ

おりたたみい
ハハッ
くすぐったいから
やめろっ

ムフフ おもしろい
次はパンノだ
何んだと

あら
なんだか
体が…

あーっ
ヒデヨン君
んっ

らっ

さてはこれ
伝染するんだ
イタズラするから
バチかあたったんだぞ

うぬぬ
こうなったら
月見姫も
ぺったらここに
してやろう
わたしは
いやだね
まて～っ
そんな足じゃ
つかまんないよ
く～っ
体が思うように
動かないわ
来て早々
とんでもないことに
なったなあ
ホント
風が吹くたび
体がヒラヒラするよ
おめでとう
君たちよくやって
くれたねっ
これ 約束の
金貨0枚です
約束？
賞金だよ
キリン塔の赤い瞳に
ふれたものには私が
賞金をつけていたのだよ
タコやイカの
さそいを ことわって
あの赤い玉にたどり
つくのは
本当に苦しかったですよ
オオ
君もかね
どうも
塔の赤い所に
ふれると
こんな体になって
金貨0枚も
もらえるなんて
おかしな街だなあ
ほんと
ヨロ
おい
バンソ
パタ
カチカチに
固まって
意識が消えた
のです
えっ

ですから
その前に賞金を
渡そうといそいで
来たのですよ
そんな
わっ
テンプラ
ザザッ
うわ
おやじ
助けて
くれえ
金は返すから
助け…
もう
おそいですよ
ヒデヨシ君
どうしたの
ビ
ダ
ッ
やっと静かになったね
これは
いったい…
完全に赤い瞳のインクが
体中にしみわたったのです
赤い瞳って
あの塔のインクが⁉
そうです
申しおくれましたが
私、幻燈学をやってある
パピト博士です

私は月見姫といいますが
あなたが塔に登る者へ賞金をつけた方ですか
そうです。
私自身何度かこころみたがあの幻覚を見て落ちそうになるばかり

そこで賞金をつけたのだが、たれもあえてこまでふれるものがいなくてね
この連中は本当によくやってくれました

私は幻燈学を研究しているものですが近年は、あのキノン塔の研究にも力を入れてきました

すいませんがその方をはこんでくれませんかね?
はあ

たいじょうぶです困まっていますから伝染しません
我が家まではこんでいただけば大変興味深いものが、こらんになれますよ

あの塔が街中のポスターを動かしているのですが
新しいポスターを作る時は新しい広告を描いて塔の裏口の穴に入れるのです

すると数日後にはいつのまにかポスターが新しく変っているのですが
ポスターに登場する人や猫だけは前と同じ顔なのです

前と同じ顔

そこで私は仮説をたてて

そのナゾの証明をしたいと思っていたのです。
暖ったかい手ぶくろなら
毛糸の尾っぽ屋に
あれ、この声
あっ
そうです！私の仮説は正しかったのです
これは！
あの赤い瞳にさわった者が
ポスターに現われるのです
ほかの店では買うなよな
そーだそーだ

あーら
星のトランプ
貝がらギタァは
海の響き
鉱物本なら
発破屋だよ

フーン
みんなが楽 そうに
ポスターに出てるねえ

私も
ぺちゃんこになれば
良かったかな？

ささどうぞ
ここが私の研究所
です
あら

「しりとり合戦
いつでもやります」

なんだ
これは？

今帰ったよ
博士
お帰りなさい

こちらが月見姫さん
うちの助手のホロンです
よろしく

よろしく

へーっ、これがキリン塔の赤い瞳にさわった人たちですか
そうだよ

すごいなぺっちゃんこだ

ホロン分解器を用意したまえ
分解器!?

ヒデヨンくんの体にしみこんでいる赤い瞳のインクをこれで分解するのです

よし作動!
はい

メソン光線の量をふやして
はい

これが赤い瞳の中につまっているインクです

動いてる

生きてるみたいだ
なにしろ熱量かありますから

気かつきましたよ
インクがすっかりぬけたようですな
ここはどこ？

あらん

ど－も－

イエーィ月見姫
インクかぬけても体はぺちゃんこのままだね

もとにもどるには数日かかるといわれてますから
その間に私の実験を手伝ってもらいたいのです
じっけん？

実験といいますと
私か作った幻燈器ですよ

幻燈器

ええ、
私の作った器械には、
体か曲紙のように
薄っぺらになっている
者の協力が
必要なので

そこで塔の瞳に
ふれる者に賞金をかけて
手伝ってくれる人を
探していたわけです
フーム
なるほど

博士屋上の用意か
できました

さて

そこでみなさんに
やってもらいたいのは
しりとりです

しりとり

私は幻燈学をやる
かたわら
趣味に早口しりとりを
やっています

こいつわけのわからん
おやしたな

そこである日
考えたのです
幻燈学にしりとりは
使えないかと
しりとりは
知ってますよね

得意よ
得意なのよーっ

よろしい
ではホロン
始めよう
はい
ぐっ

ビッ

あっ
キャッ
くすぐったい

博士
成功するといいですね
私が設計したのだ
失敗などありゃせんよ

それでは
テンプラ君、ヒデョン君
パンツ君の順に始めて
下さい
いきますよっ

しりとり

りんどう

りんどう

シューーッ

やった
おっ

おおおっ
うね
うーっ
うめりん

シューーッ

みーっ みーっ みーっ

またつっかえてるよ

星街音楽会

ボン

ムフフフ

けっこう
たまったな
これで
宿代がはらえるわ

ずーっと聞かせて
もらったけどね
おじさんたち
腕はいいけど
曲がつまんない
ねーっ
ム

こら子供
曲が悪いとは
なんだ

単純なんだよ くり返しの
ある曲なんかこの町じゃ
古びてるよ

音符屋にいって
みなよ
ちっとは
勉強になるぞ
音符屋

そーだよおじさん
こらこら
おにーさんと
よびなさい

あんた、やっぱり
どう見ても
おじさんだねえ

ほほほ

ほほほ
ダッ
わ

おれは
ザ

おにいさんなのよ、
ギュ

助けておにーさまー
よし

ふう、死ぬかと思った
音符屋ってどこにあるんだ？

オレ これから行くんだ。一緒に行くかい？
おう

ところでおにーさんたちこの町の者じゃないね
あら どうして分るの

だってオレのこと知らないんだろ
君はそんなに有名なの？

なにしろ、去年の音楽会じゃ音符の一番近くまで行けたんだからね

ふたりともいい腕してるんだから音楽会に出場したら
ムフフ音楽会かいつやるんだ？
ポン

夜が明けたらやるんだよ
夜明け？

音符の一番近く？
そうだよ

うん、この星街は一年に三日間だけ夜が明けて星空が青空になるんだよ

ここか
音符屋さ

ようクークニ
こんばんわ

のふたり音楽会
出場したいんだけど
審査してくれよ
でも
審査しても
間にあわな
いだろう

ふたりとも腕がいいから
間にあうかもしれないよ
腕がいいのか
それじゃあ
とりあえず
ためしてみるか

なんだ
それ

これは星の丘辺に
咲いている粉星草の
種ですよ
草の種

さあ好きなように
ボンゴをたたいて
くれたまえ
腕が良ければ
反応するか
悪けりゃ何日
やってもムリよ
ムムム行くぞ

イエ
スタンタ
タンタ

うっ
うまい

しえきらっぷ
タタタ

ん

スーーーッ
ろっ
タタンタ

スーッ

音符だ

ズッ

こんなに早く
成長するのも
めずらしい
腕よ
腕なのよう

とう合格
でしょう
いーや
これからってすよ

音符屋というわりに譜面かないな
なんだこれ
けっこう重いぞ

なにしろ星の丘辺の
隕石のカケラの中に
うまっているのですからな
ええ、
ここで粉星草を
こう持ってから
手をはなして下さい

あーん
の草いっぱし
落ちてるな

そしたら
下に落っこちるよ
ええ

腕の悪い者でも
良い者でも
落ちる者は
落ちます

星街の音楽会で
演奏者に必要なのは
その方だけの音を
出せるかどうか
なのです

その方だけの音
そうです、出せない者の
音で成長した草は、
みな下に落ちています

うう でも
重いよ。これ

さあ、手を
離して下さい
落ちれば
失格です

うっ 失格だと
いちにの

さん
スッ

わお
わお

やった

おめでとう
合格だよ
あなたの
個性的なリズムは
この星の引力に
のまれないでいるのだ

誰だろう
こんな譜面作ったのは

クニクニ、これ
誰か作ったんだい?

それは去年の音楽会で
みんなが演奏したやつさ

う〜っ
わけのわからん
譜面だなぁ
エヘエヘ

夜が明けて音楽会か
始まったらわかるよ

さあそれより
テンプラ君の
審査の番だよ
うーふふ
テンプラはハモニカ吹いても
種は落ちるのさーっ

やったぞ
イエー

らっ

みごと!
二人とも合格
ですね
では、さっそく

PAN

あれ、せっかくはえた
茎を切るんですか
ええ
一度はえた茎は
あなたの音を聴くと
またはえてきます
からね

この種を
音楽会で
使うのです

さあ夜が明ける前に
月夜沼の浮き草を
あやつる練習を
しなくっちゃ
浮き草？

ああ、音楽会に
出る連中はみんな
浮き草に乗るんだ
フム

なっ
おろろっ
ホントに
浮かんだわ

音に反応して浮かぶからっ
あやつってごらん、
すぐできるよ
ニャン

スタッ
タタンタ

ら

ららら

こら、草っ
どうしたのよーっ
ドドドド

ぐるぐる
回ってるぞ

あれだけふとってれば
やっぱり浮かばない
よなあ

浮かないのよーっ
テンノフ〜ン
浮かないのよ〜っ
よわったなあ
もうすぐ夜が
明けてくるよ
ドドド

夜が明けるまで
やせるわけ
ないしなあ
大きい浮き草なら
なんとかなるかも
しれないぞ

あ〜っ
まったく

やっと
ふたりっきりに
なれたわねえ
何言ってんだよ

わおう
けっこう
集まってるな

やあクニクニ
もうすぐ始まるぞ
おまたせー

でっかい大砲だな
なんでこんな所に
大砲なんかあるんだろう

こんなでっかいのが
こっちの方角に向って
いるということは・

さては
昇ってくるお日様を
ぶち落す気だな

いいぞ
大砲
いいぞ
ドドドドコ
おまえ何を
興奮しとるのだ

なあクニクニ
あの大砲で
お日様ぶち落すん
だよねーっ
あれは音楽会で
使うんだよ

音楽会
そう
オー
夜か明けるぞ

わおう
星街の
夜明けだ
ではみなさん
音楽会を
始めるよ
私の指揮で全員
「ダ」を出して
下さい

そのあとはみなさんで
譜面を見てしっかり
やりましょう

あらーっ
オレ譜面もらって
いないわよん
もうすぐ
見られるよ

発射
ドッ

あ

音符草の種だ

あの種はみんな
審査して合格した
やつなんだ
すると
オレの種も
あるんだなっ

あ
スーッ
スーーッ
パラーーッ
プーッ
ギンギン
イエー
くっ
自分だけのいい音を出すたびにあの音符に近づけるんだ
ようし
行こう
どう?あれが今年の音楽会の譜面だよ
くくっステキよっ星街ステキよ
雲の譜面た
わおう

タタタ

あらん

だんだん音符がでかくなってくるぞ
ド
みんなの音を聴いてふくらんでいくみたいだな

いい音出すと音符に近づけるっていってたな

らどんらどん
ドダダ

あのふたりずいぶんいったなあ

譜面の中で演奏するなんて

いい感じだね

星の呼吸

星街の昼が終わって
夜が来ると、しばらくの
間は、こんな風に星空が
輝いて見えるんだよ

なんだかこの街
宇宙の中に浮かんでいる
みたいだね

すごい星だなあ
ホント

酒ビン座の
青星なんか
まぶしいもんなあ

酒ビン座？
そんな
星座
あったっけ？

オレが
つくったのよ

あれは
ヒョウタン座だよ
そーともいう

ねえ
あそこにいるの
パンツ君じゃない？
ホントだわ

ホラ、あそこ
だぞ

おっ
これだ

ようパンツ
何さがしてんだっ

星のガラス玉だよ

よく街のあちこちに落ちて光ってるやつだな

これは夜空の星からとどいてくる光が少しずつ集まって結晶したものなんだよ
へーっ

それ食ってもうまくないぞ

ヒデヨンくん星のガラス玉を食べたの!?
ああ あんまりうまそうに光ってるもんで

4つ程食ってみたけど口はしびれるし腹の中は熱くなるし
まずいったらないのよ

そこでダンゴの中にひとつ入れて、テンプラに食わしたら、腹いたくなって寝てんのよ
えっ それでテンプラ君部屋から出てこなかったのね

なにしろあの子は昔から体の弱い子だったからねえ
何言ってんのお前の腹の皮が厚すぎるんだ

熱かったのよすんごく熱かったのよう
ところでバンツ君この星のガラス玉どうするの?
これでつる巻き星団を調べてるんだ

つる巻き星団を!

うん、星のガラス玉のつる巻き星団をね
宿にもどったら見られるよ

にゃん
にゃん

おかえりーっ
ただいま

あ、ヒデヨンくん
なあに

宿代たまっているんだけどね
らっ

そんなかっこうしてもごまかされませんよ
他のみなさんはきちんとはらってるんですから

はらってもらわないと宿を出てもらいますよ
うーっすぐもってくるからまっててねーっ

コレコレ！部屋代なら私が貸したはずだろう？
めし食ってお店でこれ見つけちゃったのよタコの首かざり

こんなもん買うために貸したんじゃないのに
どうも

これ返してきなさい
うー
へーっ、ここがパンツ君の部屋

なんだか小さな実験室みたいだねえ
薬品がにおうかな

いろいろ分けてあるんだね
うん

街のあちこちで拾ったやつを 光の弱さと角度の具合で分けているんだよ

こうして見ると
いろんな色をしている
んだなあ
青い光は高温で
燃えている星から
とどいた光の玉だよ

これらを集めて
ガラス玉の星座を
つくっているんだ

へえ、ガラス玉の
星座!
こっちに
あるんだよ
複雑な
はめ絵みたい
なんだけどね

なんだ
これは?

ヒョウタン座だよ
正確な位置に
おくの、むずかしいんだぞ

フエヘヘッ
あの星座は
こんなかっこう
してないぞう

実際のヒョウタン座の
星々を組み立てると
こんな風に立体的に
なるんだよ
フエ
ところで
パンツ君

さっき
つる巻星団を
調べてるって
いってたけど

ああ、これが
ガラス玉を細竹で組んだ
つる巻星団なんだけどね

銅線でつなぐと
すごい熱量を
はなつんだよ

すごい熱量!
うん

いいかい

ジーーッ

バチ
バチ
わっ

花火みたいだ

ねっ
だから
さっき見つけた
あの玉をそろえて
全部つなぐと
かなりの熱量を
放出するはずなんだ
イエーッ

パンツ おもしろいよ
全部つないで
見せてよーっ

こんなところで
全部つないだら
あぶないよ

外の広い所でやらないと
それにテンプラにも
見せてやりたいしな

そうだ
テンプラ君だいじょうぶかな

ああ、ちょっと
ようす見に行こう

おーい
テンプラ
おう、入れ

腹 だいじょう
ぶか?
ああ
ヒデヨシが
くれたダンゴ
食ったら
いたくなった
んだけどね

ヒゲ
つけて

ほほほほ
このガラス玉を全部
つなぐとすごい力を出す
といってたな
ファハハハッハ
よろしい、このアタゴオルの星座学者
スミレ博士が
試してやりましょうぞ
たしかこの
棒を……
あのダンゴに
星のガラス玉が
入っていたの
ああ
ヒデヨシが
いっていたぞ
キャー
なんだあの声は
キャーッ
ヒデヨシだな
まさか
あいつ
おい
ヒデヨシッ

しびしび
しび
待ってろ今
はずしてやる、
からな
キャーッ
しびしび
あいつ
銅線を
つないだな
だめだ
くっついて
はなれないぞ
よし パンツ君
私がやってみるぞ
えっ
ホラホラ
おとなしくしなさい
しびしび
バ
シュ
で
はずれたぞ
ぞーっ
月見姫
す、ごいなあ

ああ
体がしびれるわ
まだ
火花が出てるぞ
この火花いいニオイが
するわ
ぱく
ん
あま～いっ
甘い!?
ホラ、テンプラも
食ってみなよ
その体から
出て来た火花じゃ
食べる気しないけど…
ぱく
うん
スッととけて
たしかに
ふしぎに甘い味
オレにも
1つくれ
お客さん
銅貨1枚
いただき
ますよん
お金
とるの?
そうよ
おいしい光の
火花を売って
宿代をはっ
あれ
急に出て
こなくなったぞ
しびれがとれたから
きっともう出てこないよ
うーっ
こうなったら
またしびれるしか
ないのくあぁ
しかし、この
星の熱量を、
うまく利用する
方法はないかなあ
あるよ
えっ
あるって!?
さっき見たとき
気づいたんだ
外でもう一度
組み立ててみよう

しゃららららら
ららあ

麦麦粉
ミルクをまぜて
ブックリ粉を入れるとは
月見姫は
いったい何を
つくろうと
してるんだろ

うふふオレにも
わからんが何やら
おいしいものに違いないわ

諸君できたかね
わう
たっぷりと
こねたよう

それじゃ
これにひとつ
入れてみて

なあ
これで何つくるん
だ？
パンを焼くんだ
よ

イエ〜〜ッ
ヒョウタン座焼きい

さっき
見たとき気づいたん
だけど

パン

そう、パンの
ヒョウタン座焼き

星座のまん中の所が
すごい熱量を出してるで
しょう
えっ
月見姫には
それが
見えるのかい

ええ
それでこれを
焼いてみようと
思ったんだ
ジーッ
プクーッ
わおう
よし、焼けたぞ
いいニオイ
さあ
召しょれ
では
いただき
ぱく
ぱく
んめー!
これはうまい
ヒョウタン座の
ひかりって
甘いのかな?
うまいのよっ
月見姫
もっと焼いてくれ
そして
パン屋さんを
開くのよっ
パン屋さん
おいしい星の光で
焼いたパンだよ
ふたつ
ください
光のパン
だって!?

あーっ
うまいうまい
お前が食って
どうするんだよ

いかがですか
うん、これは
うまい
3個くれ

私は
5個ください
はい
ありがとさん

さあさあ
星の光で焼いた
パンだよ
テンプラくん
6個ね
はいよ

売れるのよーっ
売れてしまうのよー
宿代
かえせるのよー

しゃらら

それにしても
よく売れた
なあ

なにしろ味が
いいからね
まったくー!
オレなんか
2個食ったもんなあ

オレは、12個食った
のすあーっ
そして
なんだか涼しいの
よーっ

涼しいって
体がか
うん
スウスウ涼しく
なってきたんだよ

実はオレも
体がスウっと
してるんだ
私もよ

あっ
どうした
パンツ

わ
あっ
クニクニ
パッ

どうしたんだ

ヒョウタン座を
見ていたら急に
体が光ったんだよ
えっ
ヒョウタン座を

!
パッ

そうか あのパン食べた者が
ヒョウタン座を見ると
体が
光るんだ
わお

ふふ

息をしているみたいだね

フーム
ヒョウタン座焼きの
パンか

こうして
星のまたたきを
見ていると
夜空の星々も

きりねこ

注 元気で尾っぽふる　アタゴオル式手紙の書き出し

これはアタゴオルにかえった方がよさそうだな
ああいそいでな

オーイ月見姫
私も帰るぞ

またのおこしをー
長いことどーもねー
さあて卵丘に行くか

なんだい、その卵丘っての？

の町から帰る時は、卵丘から卵を1個ひろってね。
その中の水色の光を浴びると帰り道が見えて来るんだよ
へぇー

たしかこの辺に
あれだ

わおうこれこれこれよーっ
あれっ割れてるぜ

ホントだこっちのもみんな割れてる
君たち、その卵はとうぶん使えないよ

使えない
ああ、この間町はずれに隕石が落っこちた時、その振動でここらの卵はみんなヒビが入ってね

で、光がみんなぬけてしまったんだよ

まあ、あとひと月もすれば、ヒビも消えてもとの卵にもどるがね
うーっ待てない待てない待てないのよーっ

ノーム一ヵ月
待つしかないのか・・
いそぐんだったら
ほかに方法
あるよ

ホント

ああ、
金星通りの
天候薬屋に
行ってたのんで
ごらん
金星通りの
天候薬屋だね

待ってろ
ドラネコ団め

おおっ
ここだな

あのね
オレ アタゴオルに
帰りたいのよーっ
ん?

ここに来たら
早く帰れるって
聞いたのさーっ
ああ
それはいいけど
銀貨5枚だよ

ぬふふ オレ
ハン屋さんで
もうけたからね
あるのよ
銀貨5枚

よろしい
それでは
こちらへ来て

まずこれを
のみなさい
あいよ

うっ
すっぺーっ

いいかい、
むこうに着いたら、
この小さくて青いのを
のんで、ちょっとおいてから
大きくて赤いのを
のむんだ、
あいよ

のみ方まちがうと体がガタガタになるからな
最初にのむのはどっちだい?
え…っ小さい青

よろしい
それじゃ
この箱に
入って

君、本当にこんなのでアタゴオルに着くのかね
いいか
しめるぞ
バタ
ん?
おろろっ体が浮かんでる
そうか、早く薬をのむんだったな
どっちだったかな

まっくら

あらん
なんだか箱の中、ひろびろしてきたぞ

わおう
アタゴオル
だわっ

まっ
こういう時は

一緒に
飲む

フフ…
ホラね
ドン

ようし、
ドラネコ団を
ぶちのめしに
行くか
バゴッ

ガサ

まずこの小さな薬
飲むんだったな
ふう

ヒデヨシのやつ
ちゃんとのんだかな

順番
まちがえたんじゃ
ないかな

それは
ありうるぞ

順番まちがえると
体が変になるんだ
ろう
でも
ヒデヨシに
薬なんて
きくのかなあ

助けて―っ
なんだ
あの声

早く 薬のみなよーっ

もう のんだよ

ますむら　ひろし（増村博）プロフィール

一九五二年十月二十三日　山形県、米沢市生れ。米沢興譲館高校卒。
二十歳からマンガを描きはじめる。
一九七三年、手塚治虫賞準入選。
「霧にむせぶ夜」でデビュー。
代表作は『アタゴオル物語①〜⑥』『宮沢賢治マンガシリーズ』（朝日ソノラマ）
趣味はバンドをやること。仕事のあい間にドラムをたたき、バンド（ハーツクラブバンド）で、ビートルズナンバーを歌う。
好きなものは、ドラムたたき、かつおたたき、うに、火山、焼酎、ビートルズ。

アタゴオル玉手箱——1・星街編

発行　一九八六年七月　第一刷
作者　ますむら　ひろし
発行者　今村　廣
発行所　偕成社
〒162東京都新宿区市ヶ谷砂土原町3-5
電話（〇三）二六〇―三二二九（編集）
（〇三）二六〇―三二二一（営業）
印刷　大日本印刷㈱
製本　文勇堂製本
144P ISBN4-03-014040-8 C0093

定価はカバーに表示してあります。
落丁本・乱丁本はお取り替えいたします。

初出

月刊MOE（偕成社刊）'84年6月号〜'85年12月号

口絵／P.1〜3　王様手帖（アド・サークル刊）

口絵／P.4〜8　月刊プレイボーイ（集英社刊）

ビートルズ曲あてクイズ解答

★1／I call your name (P.18)

★2／Drive my car (P.46)

★3／Don't let me down (P.50)

★4／Come Together (P.51)

★5／I've got a feeling (P.68)

★6／We can work it out (P.78)

★7／Dig it (P.110)

★8／Baby it's you (P.132)